

内容はともかくとしてこれは守りましょう。

(大体どの論文誌でも通用する一般的ルールです)

### 1. フォント

- 一般的なフォントで書く  
(日本語なら明朝かゴシック、英語なら Times New Roman か Century あたり)
- (特に数字で)いろんなフォントをまぜこぜにしない  
(ほとんど半角で数字を書いているのに、ところどころ全角ですとあまり見た目がよくありません)

### 2. 単位の付け方

- 数字の後に単位をつけるときは括弧でくくらない  
(例) 5  $\mu\text{m}$ , 0.10  $\text{cm}^2/\text{Vs}$ , 50 ms, 300 K
- 文字の後に単位をつけるときは括弧 (( ) or [ ]) でくくる  
(例)  $L$  ( $\mu\text{m}$ ),  $\mu$  ( $\text{cm}^2/\text{Vs}$ ),  $t$  (ms),  $T$  (K)
- 数字 or 文字と単位の間は半角 1 スペースをあける

### 3. 記号の付け方・書き方

- 記号(文字)の定義は明確に  
(例)

$$I_D = \frac{1}{2C_{gate}} \frac{W}{L} \mu (V_G - V_{th})^2 \quad (1)$$

ここで  $I_D$  はドレイン電流、 $C_{gate}$  はゲート絶縁膜の単位面積当たりの容量、 $W$  はチャネル幅、 $L$  はチャネル長、 $\mu$  は移動度、 $V_G$  はゲート電圧、 $V_{th}$  は閾値電圧とする。

とか

- ※ 一編の論文で異なる物質、変数を同じ記号で書いてはいけません
- ※ 似たようなものを使うときは suffix(下付文字)等で識別すること  
(例) ドレイン電圧:  $V_D$  とゲート電圧  $V_G$
- ※ 上付、下付にするのをさぼらない  
( $VD$  とかはかっこ悪いです)
- ある程度慣例にしたがって記号を定義する  
(電圧なら  $V$ , 電流なら  $I$ , 時間なら  $t$ , 長さは  $L, l, D, d$  を基本に高さ  $h$  や半径  $R, r$  など)
- 原則的に記号は斜体 (ただし下付文字はどっちでもいい)  
(例) カンチレバー曲率半径:  $R_{tip}=15 \text{ nm}$
- ギリシャ文字を使うときは”symbol”のフォントで書く (MS Word の場合)  
(日本語フォントで書くと変なスペースがあいてかっこ悪いです。また英語の paper, abstract を海外に送付すると文字化けの原因になるので、ギリシャ文字  $\alpha, \beta, \gamma, \dots$  は”symbol”のくせをつけましょう)

表 1 仲間たちの概要

名称	こげぱん	キョロちゃん	ぱんだ
所属	San-X	森永	中国

4. (書くかどうかはしりませんが)数式の書き方
- すべての式に式番号をつける
  - $\exp$ ,  $\log$ ,  $\ln$ ,  $\sin$ などは斜体にしない  
(MS Wordを用いた場合は数式エディタが勝手に認識しますが、TeXの場合は” $\Yexp$ ”や” $\Ylog$ ”などで斜体にしないようにしましょう)
  - 式が続いて2行以上になるときは等号(=)の縦位置を合わせるなどしてかっこよくしましょう



図1 こげぱんと愉快的仲間たち

5. 図の描き方
- 「分かりやすく描く」が基本  
分かりにくいと結局修正をくらって余計面倒になります。少し時間をかけても分かりやすく描くのが結局早道です。
  - 色使いは常識的な範囲で  
とりあえず「黒、赤、青」が基本。論文で描いたグラフ等をpptのスライドにそのまま使うことはよくありますが、その際黄色、黄緑色、薄い紫などの色はPCのモニターで見えてもプロジェクタでほとんど見えないので、その辺りも念頭に入れて色の選択をしましょう。
  - (表も同じですが)図はページの上か下に配置する。  
(文中に配置してはいけません。特に文章をぶったぎるような位置に配置するとすさまじくかっこ悪いです。)
  - (グラフの場合)軸のタイトルと単位は必ず書く
6. 図番号、表番号の書き方
- 図1(Fig. 1)や表1(Tab. 1)と書く  
(グラフ1とか書いてはいけません)
  - 章ごとに番号を区切るときは、第一章内では図1.1, 図1.2、第二章内では図2.1, 図2.2などのようにして書く
  - Caption(図表の説明)は必ず書き、図の場合は下、表の場合は上に配置する
7. 参考文献の書き方、番号の付け方
- 基本的に参考にしたものはすべて書く  
※ 特に数値等を引用した場合は必ず書く
  - 引用番号は[1](大括弧でくくる)か<sup>1</sup>(上付文字)で書く
  - 引用番号は句読点(、 or 。)の位置に配置する。文中に配置する場合は「文献[5] or Ref. 5」などの書き方をする  
(例) ○：一般的な睡眠時間から考えると[5]、彼の睡眠時間は…。  
×：一般的な睡眠時間[5]から考えると、彼の睡眠時間は…。
  - 引用番号は本文中で最初に引用した部分に付け、その後再度同じ文献を引用する際は同じ番号をつかう
  - 引用の番号の順序をちゃんとそろえる  
本文中での引用番号の順番が[1]→[10]→[3]とかはだめです
  - 複数の文献を同じ箇所でも引用する場合は[2,4,5]or<sup>2,4,5</sup>と”,(カンマ)”で区切る  
(“(ピリオド)”はだめです)
  - 3つ以上の番号が連続した文献を引用する場合は[2-10,15]or<sup>2-10,15</sup>とする  
([2,3,4,5,6,7,8,9,10,15]とか書かない)